

336-A地区 5R-1Z
丸亀ライオンズクラブ会報誌



2012
7.8
No.945

LIONS

2012 MARUGAME LIONS CLUB

徹底・継続・笑顔
熱。もつと身近にウイ・サード



ライオンズクラブ国際協会 第95回 釜山国際大会



MESSAGE FROM THE PRESIDENT

「奉仕の世界」へ飛び出そう!

私たちは韓国・釜山での国際大会を終えたばかりです。今回の大会は大成功を収め、史上最大のものとして記録されることになるでしょう。会員とゲストを合わせた登録者数は5万5千人を超えるました。ジュンユル・チョイ元国際理事とすばらしいホスト委員会の皆さん、この大会の実現に向けた過去5年間のご尽力に心から感謝致します。

ライオンズクラブ国際会長としての1年を前に、世界最大の奉仕組織を代表する機会を与えてくださった世界全136万人のライオンにお礼を申し上げます。私にとって、この挑戦は決して軽々しいものではありません。一人ひとりが国際協会のために全力を尽くしてこそ、今年度を更なる成功の1年へと導くことが出来るでしょう。

ライオンズの歴史に刻まれるこの1年、そして「奉仕の世界」に足を踏み出すに当たっては、好調なスタートを切ることが大切です。(中略)

今年はクラブ会長を始め、可能な限り多くの皆さんにお会いしたいと考えています。そのため、世界中のさまざまなフォーラムに出席し、多くの複合地区を訪問し、あるいはフェイスブックを閲覧するつもりです。クラブや地区は各地域社会の改善に向けてさまざまな事業を行っていますが、その多様性はいつも私を驚かせてくれます。これからもすばらしい活動を続けるために、今すぐエンジンを響かせ「奉仕の世界」へと飛び出そうではありませんか！

2012-13年度国際会長

ウェイン・A・マテン

(国際協会ライオン誌 日本語版 事務所発行より抜粋)



6月22日から26日まで、韓国・釜山で開催されました。登録者数5万5千人と史上最大規模となった大会には、日本からも5千人を超えるが参加あり、世界のライオンズと交流しました。

坂出ライオンズクラブ

◆クラブ紹介

- 結成日：昭和35年4月1日
坂出ライオンズクラブ第53代会長 山地 規博
スローガン「愛情と出会いを大切に ウィサーブ」
キーワード — 絆 —
- 役員名：会長/山地 規博 幹事/白川 勝 会計/三崎屋雅之
- スポンサークラブ：丸亀ライオンズクラブ
- 会員数：47名
- 姉妹提携クラブ：児島ライオンズクラブ
- 事務局所在地：〒762-0001 香川県坂出市京町3-3-8
坂出商工会館4F401号 坂出ライオンズクラブ
TEL(0877)45-2730 FAX(0877)45-2777
E-mail sakайдe-1c@olive.plala.or.jp

◆沿革(あゆみ)

1960年4月丸亀ライオンズクラブのスポンサーにより香川県で4番目のクラブとして42名のメンバーで結成しました。

クラブ事業としては、青少年育成事業に注力し、府中湖においての親子カヌー教室、障害を持つお子様とご家族を対象としたサンライズカヌー教室を現在も継続開催しております。

また、2008年に香川県で初めてライオンズクエスト・プログラムに取り組み、以来継続してワークショップを開催しております。

2010年には結成50周年を迎え、角膜のみ抽出する器機「マイクロケラトロン」を財団法人 香川アイバンクに、宣伝車「レオンⅢ号」を坂出市に寄贈、また、善通寺ライオンズクラブ、阿波池田ライオンズクラブ、坂出白峰ライオンズクラブ、綾歌郡ライオンズクラブに続き、42年振りに香川初のシニアライオンズクラブである坂出シニアライオンズクラブの結成をサポートすることができました。

現在、山地会長以下47名の会員で、元気にライオンズ活動を行っております。

◆主な事業

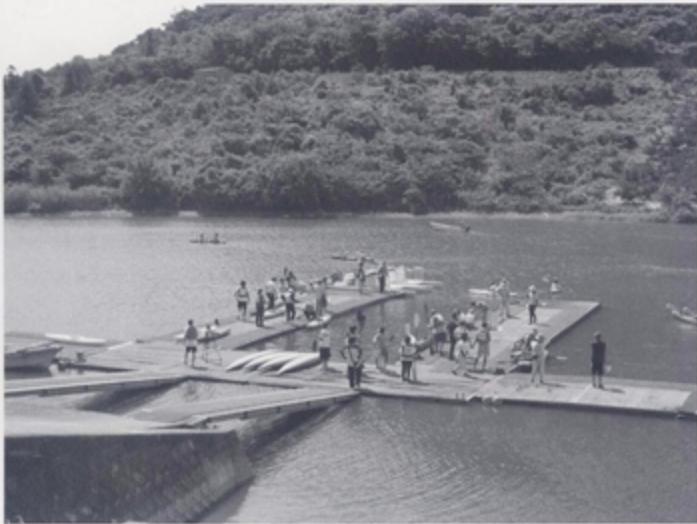
- 救護施設清水園での餅つき クラブ創立以来続いている奉仕活動（今年で53回目）
- 親子カヌー教室 年2回開催（今年37、38回目開催）
- サンライズカヌー教室（今年で15回目）
- ライオンズクエスト坂出ワークショップ
2008年より公募型3回 校内型1回開催
今年は参加修了された方を対象にフォローアップワークショップ開催
- 献血 年3～4回実施



336-A地区 5R-1Z クラブ紹介 vol.1



サンライズカヌー(流しうどん)



親子カヌー教室



献血活動



ライオンズスクエスト坂出ワークショップ

①クラブの目的

どんな団体でも、この世のなかになぜ存在するのかという理由を持つていなくてはなりません。株式会社のように法律で人格を与えられた団体はもちろん、県人会のように任意で結成された団体でも、それぞれ立派な存在理由を持っています。団体はそうした理由を、自ら規定して「目的」と称しています。ライオンズクラブも例外ではありません。目的があるからこそ、またその目的の達成に精進するからこそ、ライオンズクラブは社会から高い評価を受けています。

私たちが会員になりますと、まず初めに『ライオンズ必携』

を頂きます。やがていろんな役職につきますと、さまざま参考書類が配付されます。『ライオンズ誌』もそうですが、必携から参考書に至るまで、そのすべてが、この「目的」を理解するための、また、この目的を達成するための指導書であるといつても過言ではありません。それほど、目的というものは、クラブにとっても、会員にとっても、一番大事なものだといえます。

さて、ではその目的ですが、次の六項目に分かれております。一 世男の人びとの間に相互理解の精神をつちかい発展させる二 よい施政とよい公民の原則を高揚する

三 地域社会の生活、文化、福祉および公徳心の向上に積極的関心を示す

四 友情、親善、相互理解のきずなによってクラブ間の融和をはかる

五 一般に関心のあるすべての問題を自由に討論できる場を設ける。ただし、政党、宗派の問題をクラブ会員は討論してはならない。

六 奉仕の心を持つ人びとが個人の経済的報酬なしに社会に奉

仕するようはげまし、また、商業、工業、専門職業、公共事業および個人事業の能率化をはかり、道徳的水準をさらに高めるこの目的を達成するための会員の具体的な活動を、私どもはクラブのアクティビティと呼んでいます。

繰り返すようですが、ライオンズクラブは「目的」があるからこそ存在し、その目的達成に会員が一致して行動するからこそ社会的な評価を受けていることを忘れてはなりません。

(ライオンズ文庫『ライオンズスピリット』
ライオンズ誌日本語版事務所発行より)

1331回例会 夏の家族例会

日時：平成24年8月4日(土)

場所：大江戸温泉物語 ホテルレオマの森

コンセプト：「ありがとう」

担当：計画委員会



「2012年度夏の家族例会」を終えて

今年の家族例会は、日頃の感謝の気持ち「ありがとう」を、会員から家族へ、会員から事務局へ、会員から会員へ、素直に表現しようというコンセプトで開催させていただきました。多くの会員皆様とご家族に参加していただき、心より御礼申し上げます。また、例会のオープニングを「上に向いて歩こう」の素晴らしい演奏で飾っていただいたハンドベル同好会の皆様、華麗なイリュージョンを披露いただいたし横関、昨年に引き継いで子供たちに大好評のカブトムシ、クワガタムシを提供してくださったし豊久、全ての皆さんに、感謝、感謝、「ありがとう」です。

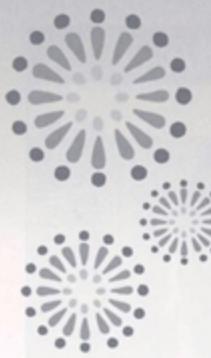
日頃のライオンズ活動や、会員皆さんからの「ありがとうメッセージ」も紹介され、参加したY.E生の王詩尹さんも、クラブの会員やご家族と一緒に、会場の大きな「ありがとう」の輪の中で、日本人のやさしさ、丸亀ライオンズクラブのホスピタリティーに感動してくれました。企画に携わった計画委員会一同、参加していただいた会員皆様、そして都合で参加できなかった会員皆様に対して、改めて御礼申し上げます。

日頃の皆様のライオンズ活動が、この一体感に繋がりました。今年は、クラブ設立55周年の年でもあり、明日からも馬場会長や役員を中心に、丸亀ライオンズクラブの存在感を未来に向けて一層高められるよう取組んでいきたいと思います。

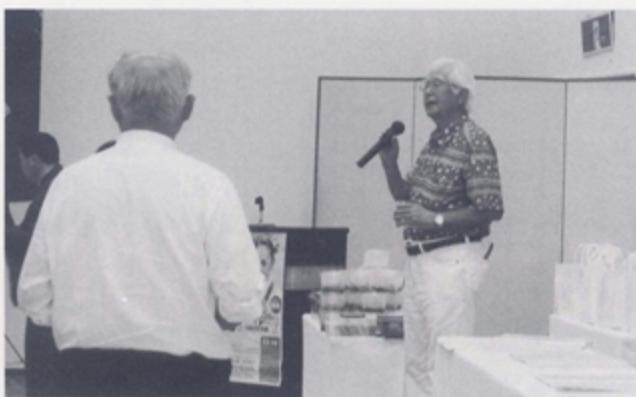
ほんとうにありがとうございました。

計画委員長 田中 祥友

MARUGAME LIONS



感謝 感謝でフィナーレ!!



し横関のイリュージョン



YE生の王さんも感激!

大好評のかぶトムシ・クワガタムシの展示・提供

第一三三二例会
新入会員スピーチ



上 加藤 敬三

丸亀ライオンズクラブに入会させていただきまして、約1年経過いたしました。その間、宮垣前会長、馬場会長をはじめとする幹部の皆さま、計画委員会やハンドベル同好会をはじめとするクラブの皆様方のご指導により、非常に楽しく、有意義に過ごさせていただいております。この場をお借りしてお礼申し上げます。

本日は、どのようなお話をさせて頂くか、いろいろ考えましたが、四国電力に勤務していることもあり、せつかくの機会でございますので、四国の電力需給などについてお話をさせていただきたいと思います。

この夏、35度を越えるような暑い日々が続いておりますが、なんとか、計画停電のような最悪の形では皆さまにご迷惑をかけずに、電力需給は安定した今年の四国の最大電力は、今のところ、8月7日の525万kWですが、一昨年と比べますと、概ね30～40万kW、率でいいますと、6～7%程度低くなっています。この背景といたしまし

丸亀ライオンズクラブに入会させていただきまして、約1年経過いたしました。その間、宮垣前会長、馬場会長をはじめとする幹部の皆さま、計画委員会やハンドベル同好会をはじめとするクラブの皆様方のご指導により、非常に楽しく、有意義に過ごさせていたいたております。この場をお借りしてお礼申し上げます。

本日は、どのようなお話をさせて頂くか、いろいろ考えましたが、四国電力に勤務していることもあり、せつかくの機会でございますので、四国の電力需給などについてお話をさせていただきたいと思います。

関西電力の大飯原子力発電所の3、4号機が7月下旬に再稼動いたしました。関西や九州など、西の地域の電力需給は緩和して、いずれの地域でも計画停電のような事態は発生しておりませんが、大飯の再稼動がなければ、現時点まで、関西地域は10回程度の計画停電の必要があつたとの報道もございました。

ご存知の通り、伊方発電所につきましては、3機ともに停止中であり、未だにいつ再稼動できるか、見通しがつかない状況です。伊方発電所は、東日本大震災に伴う福島原子力発電所の事故を踏まえまして、地震の揺れに備えての対策、電源を確保するための対策、原子炉を冷やすための対策などの対策を進められており、立地する愛媛県の中村知事からも一定の評価を頂いております。

弊社といたしましては、伊方3号機の再稼動に早くゴーサインを出していただきたいのですが、現実的には、今後国会で委員長人事が審議される原子力規制委員会が設置された後になる可能性が高く、まだ暫く時間がかかりそうですね。

現在、長期の原子力政策、エネルギー政策の議論が行われております。全国各地での公聴会では比較的多くの方が、原予力比率「ゼロ」を支持する一方で、経団連、経済同友会をはじめとする産業界は、「20～25%」、あるいはそれ以上の高い原予力比率を維持するよう求めしており、世論が二分されています。

また、世論調査をみると、一般の方の意見も年齢層で特徴があり、若年層は、一定の原予力比率を維持すべきだと考えている割合が多いようです。電力会社は発言する機会が与えられていませんが、一定の原予力比率を維持していただきたいと考えております。福島原子力発電所の事故、それに伴うマスコミの報道などから、「原予力は安全性は信頼できない」、「原予力は嫌いだ」という方が多くなっていると思われます。しかしながら、太陽光などの再生可能エネルギーは増やさないといけませんが、原予力の代わりとして、電源の30%を上回る比率を期待するのは現実的には当面、難しいと思われます。

また、原予力をゼロとして、コストの高い太陽光や火力発電で電気を賄つた場合には、電気代が2倍程度に上がります。

そこで、原予力をゼロとして、コストの高い太陽光や火力発電で電気を賄つた場合には、電気代が2倍程度に上がります。



上 藤 岡 勇

現在、長期の原予力政策、エネルギー政策の議論が行われております。全国各地での公聴会では比較的多くの方が、原予力比率「ゼロ」を支持する一方で、経団連、経済同友会をはじめとする産業界は、「20～25%」、あるいはそれ以上の高い原予力比率を維持するよう求めしており、世論が二分されています。

また、世論調査をみると、一般の方の意見も年齢層で特徴があり、若年層は、一定の原予力比率を維持すべきだと考えている割合が多いようです。電力会社は発言する機会が与えられていませんが、一定の原予力比率を維持していただきたいと考えております。福島原子力発電所の事故、それに伴うマスコミの報道などから、「原予力は安全性は信頼できない」、「原予力は嫌いだ」という方が多くなっていると思われます。しかしながら、太陽光などの再生可能エネルギーは増やさないといけませんが、原予力の代わりとして、電源の30%を上回る比率を期待するのは現実的には当面、難しいと思われます。

そこで、原予力をゼロとして、コストの高い太陽光や火力発電で電気を賄つた場合には、電気代が2倍程度に上がります。

なる可能性があります。

そして、その結果、原予力をゼロとだと考えている割合が多いようです。

した場合には、500兆円程度のわざが国のGDP（国内総生産）が最大で45兆円減少（消費税でいうと、18%）することも試算されております。

このように、将来の世代にも大きな影響を与えることになりますので、8月末目途に政府が結論を出す予定になりますが、拙速にならず、冷静で、客観的な判断がされるよう、切に望んでいます。

いずれにしましても、弊社といたしますは、今後とも安定的に電気を供給できるよう努めてまいりますので、相変わらぬご支援をいただけますよう、よろしくお願ひいたします。

長くなりましたが、ご静聴ありがとうございました。

企業となりました。今までいくつかの再生事業を手掛けさせていただきましたが、どの再生事業もひとつの共通点があります。それは「普通のことが出来ていない」「当たり前のこと」が出来ない」と言うことです。レオマワールドは特に施設の清掃不備は目に余るものがありました。ゴミはいたるところに落ちている。蜘蛛の巣はある。これがサービス業としての施設なのかと目を疑いました。最初に取り組んだのは施設をきれいにすることでした。園内清掃部門を増員し、園内ばかりではなくレオマワールドの前を通る道路も週に一度は我々で清掃しています。レオマワールドは20年以上経つ古い施設です。なおさら綺麗にしなければゲストは来園してくれません。「普通の事を当たり前にする」以外に難しいことです。しかし、すべては基本の上に成り立つ事と思えば欠かしてはならないことだと思います。資金があれば再生事業が出来るわけではないとつく思います。

また、再生事業は再生させるだけではなく、継続が必要です。レオマで働く従業員には100年継続させる事と説いています。私も含め今働いている者はその一瞬の時間レオマワールドに携わるだけ、その繰り返しが100年を継続させることにつながるそう考えています。今レオマに来ている小さな子供たちがおじいちゃんやおばあちゃんになり、孫を連れてレオマワールドへ来てくれる。それが再生事業の使命です。地域に役立つ企業とはそういうものだと思います。

当初、拒んだレオマワールドの職ですが、楽しそうに遊んでいる子供たちの笑顔を見るとやつてよかつたなと思う今日この頃です。

演奏慰問(ハンドベル同好会)

日時：平成24年8月4日(土)

場所：老人ホーム施設『スマイル』



真夏のうだるような暑さの中、ハンドベル同好会による老人ホーム施設「スマイル」への演奏慰問。演奏会場となる集会室には、時間前にもかかわらずイスを並べ、何人かは待ちきれない様子で、早くも前席を確保する人気ぶり。今回丸亀ライオンズクラブの環境保全・保健福祉委員会としての慰問は初めてですが、これまでにハンドベル同好会独自による訪問は何回もあり、入居者と演奏メンバーの間にはすでに意志疎通もあり、和やかなうちに演奏が始まりました。そのうち、施設職員より実は入居者がこの日のために、ハンドベルの練習をしてきたので、是非一緒に演奏してもらえないかとの提案。早速、夏の曲『うみ』と一緒に演奏しました。大きな拍手が起きました。開始より50分程経ち、最後の演奏が終わるとすかさずアンコールの声。曲名は、『水戸黄門』でした。入居者全員の大合唱。「次回の演奏会はいつ来てくれるん？」

環境保全・保健福祉委員会委員長 為定 隆

愛の献血運動

日時：平成24年8月11日(日)

場所：ゆめタウン丸亀店内



多数の皆様のご協力をいただきました。
誠にありがとうございました。

献血数：400ml=83名
メンバー 27名・メンバー献血 6名

第1330回例会

日時:平成24年7月19日(木)
会場:オークラホテル丸亀

行 事 「55周年部会別例会」



大会委員長 L.三谷



アクティビティ部長 L.三宅

第1332回例会

日時:平成24年8月16日(木)
会場:オークラホテル丸亀

行 事 「新会員スピーチ」



ビジター 三豊ライオンズクラブ結成40周年記念

大会委員長 小畠 孝様
大会副委員長 福岡 黙様

第1329回例会

日時:平成24年7月5日(木)
会場:オークラホテル丸亀

行 事 「新年度方針発表」



L.馬場

【会員慶祝】



前年度五役の方々に記念バッジ贈呈

第1331回例会

日時:平成24年8月4日(土)
会場:ホテル レオマの森

行 事 「夏の家族例会」



市長表敬訪問

日 時

平成24年7月23日(日)

場 所

丸亀市役所



台湾より来日、王詩尹(WANG, SHIH-YIN)が市長を表敬訪問しました。LCメンバー、L松浦夫人が訪問しました。

担当/YE・国際協調委員会

夏の家族例会

日 時

平成24年8月4日(土)

場 所

ホテル レオマの森

ハンドベル同好会の演奏会と子供体験コーナー。
また、L横関によるマジックショーで楽しみました。



担当/計画委員会



ライオンズクラブ国際協会336-A地区5R-1Z

丸亀ライオンズクラブ発行

会長/馬場 史郎 幹事/高橋 昌利

事務局/〒763-0011 丸亀市富士見町3-3-50 オークラホテル丸亀内

TEL(0877)22-6356

URL/<http://marugame-lions.jp>

E-mail/info@marugame-lions.jp

(PRライオンズ情報IT委員長)